

AI 型学習アプリの運用開始について

1 導入の背景と目的

本市における児童生徒の学力状況は、「全国学力・学習状況調査」において正答数が全国平均を下回る状況が継続しており、特に中・高位層の正答数が全国水準に達していない状況である。

全国学力・学習状況調査等を分析した結果、本市の特色として、授業時間以外での学習習慣に係る項目の評価が低い状態が継続しており、学校外での学習時間や復習の機会が十分に確保できておらず、学習内容が定着しにくい状況にあることが推察される。

こうした背景を踏まえ、本市では、全ての児童生徒に「個別最適な学習の機会」を公的に確保するため、令和8年度から AI 型学習アプリを全市一斉に導入することとした。

2 事業の概要

- (1) 導入アプリ: Qubena(キュビナ): 株式会社 COMPASS
- (2) 対象: 市立小学校、中学校、特別支援学校(小学部・中学部)の全児童生徒
- (3) 契約期間: 令和8年7月～令和12年8月まで
※第2期 GIGA 端末の契約期間満了日までの50ヶ月
- (4) 運用開始日: 令和8年7月6日(月)
- (5) 事業費: 415,358千円 (予算 626,793 千円) ※5か年

3 AI 型学習アプリ「Qubena」による学習定着の仕組み

本アプリの導入により、従来の画一的なドリル学習では困難であった以下の支援を実現し、学習の定着を図る。

(1) 習熟度に応じた「個別最適な学び」による学習の質の向上

AI が児童生徒一人ひとりの習熟度やつまずきを瞬時に分析し、そのレベルに合った問題を提示する。正解した場合は発展的な問題へ、誤答した場合はその原因となった過去の学年の単元まで自動で遡り、学び直しを促すことで「わからない」を放置しない。

(2) 学習習慣(量)の確立と成功体験の創出

短時間で「できた!」という成功体験を積み重ねることで、家庭学習の心理的ハードルを下げ、日常的な学習習慣の定着を図る。

4 指導体制及び学校外支援・家庭との連携

(1) 児童生徒へのきめ細やかな指導・支援

AIが個に応じた課題の準備や採点を担うことにより、教師は、学習履歴(スタディログ)を元にした児童生徒一人ひとりへの個別最適な指導・支援に注力することができる。

教育委員会事務局としては、アプリ活用の指針となる「北九州市 AI 型学習アプリ活用アクションプラン」に基づき、学校に対する効果的な活用方法の周知徹底と、段階的な伴走支援(訪問・電話連絡)を実施する。

(2) 「教育支援室」や「未来へのとびらオンライン教育支援室」等との連携

「教育支援室」や「未来へのとびらオンライン教育支援室」、校内の「ステップアップルーム」においても同じアプリを活用することで、場所を問わず学びを継続させる。学習履歴(スタディログ)を共有することで、学校と連携した切れ目のない指導に取り組む。

(3) 家庭との連携

端末の適切な利用時間の目安を提示して健康面へ配慮するとともに、保護者が児童生徒の学習履歴(スタディログ)を確認し、前向きな声をかけていただくよう呼びかける。学校と家庭が一体となってアプリを活用する環境を整え、日常的な家庭学習習慣の定着を促す。

5 今後の展望

本事業は、本市の「こどもまんなか教育プラン」が掲げる、自ら問いを見つけ解決していく「自律的な学習者」の育成に向けた大きな布石である。

7月6日の運用開始以降、各学校における活用状況や学力の変化を注視し、誰一人取り残すことのない、先端的な学びの環境を構築してまいりたい。